



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年10月29日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryopan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,586	△2.0	118	△12.0	122	△23.8	70	10.6
30年3月期第2四半期	8,759	△0.6	135	△36.9	160	△28.9	63	△55.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	33.67	—
30年3月期第2四半期	30.44	—

※平成29年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	15,163	4,648	30.7
30年3月期	13,457	4,557	33.9

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 4,648百万円 30年3月期 4,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	15.00	15.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	3.4	200	6.8	200	△7.2	80	△18.4	38.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年3月期2Q	2,103,948株	30年3月期	2,103,948株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

31年3月期2Q	9,882株	30年3月期	9,845株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期2Q	2,094,069株	30年3月期2Q	2,094,667株
----------	------------	----------	------------

※平成29年10月1日付で、普通株式10株を1株とする株式併合を実施しております。期中平均株式数につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
(追加情報)	P. 7
3. 補足情報	P. 7
販売実績	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いておりましたが、本年9月6日に発生した北海道胆振東部地震及びその後の大規模停電に伴い、工場の操業停止、量販店やコンビニエンスストア等の営業停止、外国人観光客の減少等があり、北海道経済に大きな打撃となりました。当業界におきましては、パン類の消費は回復傾向で推移しておりましたが、お客様の生活防衛意識が根強い市場環境のもと販売競争の激化に加え、原材料価格、エネルギーコスト及び人件費が上昇し厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心に主力製品の品質向上を継続し、多様化するお客様のニーズを捉えた新製品開発に積極的に取り組み、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に努めました。また、生産、販売、管理の各部門における業務のさらなる見直しと効率化を進め、継続して経営基盤の強化へ取り組んでまいりました。本年7月には新設の月寒デリカ工場が竣工稼働し、最新鋭の炊飯設備や効率化された加工調理設備を活用して、調理パン・米飯類の生産・供給を開始しました。お陰様をもちまして新工場は順調なスタートを切ることができました。一方、輸入小麦の政府売渡価格引上げ、人件費や物流費の増加及びエネルギーコストの上昇等を踏まえて、本年8月1日から一部のパン製品につき、対象製品の出荷価格を平均で3.7%値上げしました。

北海道胆振東部地震に関しましては、その直後の大規模停電により、当社は2日間の操業停止を余儀なくされました。緊急事態に対処するため、品種数を絞って生産を再開するとともに、地方自治体等の要請を受けて被災地に緊急食糧を供給しました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、“しっとり、やわらか”な食感を訴求し取扱拡大に努めた主力の「絹艶」が堅調に推移しました。9月には北海道産小麦を使用した「絹艶北海道」をさらにもちもち感を向上させてリニューアルし、SNSを活用し積極的に拡販しました。本年4月に発売したバター風味豊かな「プレミアムアデニッシュ」シリーズ及び昨年発売したシンプルな配合でトースト専用のハード系「イギリス食パン」の寄与もあり売上は好調に推移しました。菓子パン部門は、「ラブラブサンド」、コッペパンタイプのロール類やドーナツ類の伸び悩みもあり、売上は前年同期を下回りました。一方、昨年発売したフィリングをたっぷり使用した重量感のある「ずっしり」シリーズは、本年5月に品揃えを充実強化して拡販に努めた結果、売上に大きく寄与しました。7月に口どけの良い白いパン生地が特徴の「やわらかピュアブレッド」シリーズを新たに投入し、さらに9月からは「しっとりあんぱん」等の「北の国のベーカリー」シリーズをリニューアルし生地の風味を向上させて取扱拡大をはかったほか、値ごろ感のあるコンビニエンスストア向け製品の提案を強化し売上の回復をはかりました。和菓子部門は、「チーズ蒸しパン」などの蒸しパン類やロングライフ製品は順調に推移しましたが、季節商品や串団子類が伸び悩み、前年同期の売上を下回りました。洋菓子部門は、スナックケーキ等の不振により前年同期の売上を下回りましたが、ココア風味が豊かな「黒のチョコロール」と姉妹品の「白のチョコロール」が好評をいただくとともに、コンビニエンスストア向け製品を積極的に提案し売上の回復に努めました。調理パン・米飯部門は、量販店向け弁当や寿司の拡販を積極的に進めましたが、コンビニエンスストア向けおにぎりやサンドイッチの売上逸失の影響が大きく前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は8,586百万円(対前年同期比98.0%)と伸び悩みました。営業利益は118百万円(対前年同期比88.0%)、経常利益は122百万円(対前年同期比76.2%)、四半期純利益は70百万円(対前年同期比110.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は15,163百万円で前事業年度末に対し1,706百万円増加しました。流動資産は4,876百万円で主に現金及び預金が808百万円増加し、売掛金が66百万円減少した結果、前事業年度末に対し780百万円増加しました。固定資産は10,287百万円で主に月寒デリカ工場の完成により有形固定資産が874百万円増加した結果、前事業年度末に対し925百万円の増加となりました。負債合計は10,515百万円で主に支払手形及び買掛金が92百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が1,433百万円増加した結果、前事業年度末に対し1,615百万円増加しました。純資産合計は4,648百万円で前事業年度末に対し90百万円増加しました。

この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は30.7%、1株当たりの純資産は2,219円79銭となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前事業年度との比較・分析を行っております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続くものと期待されますが、当業界におきましては、販売競争が激化する市場環境のもと、人手不足感の強まりに加え原材料価格とエネルギーコストの高止まりにより、経営環境は厳しい状況が継続すると予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、主力製品を一品ずつ丁寧に見直し、品質の向上を進めるとともに、多様化するお客様のニーズを捉えた価値ある新製品開発を業態別、チェーン別に積極的に推し進め、パン、菓子部門の売上回復に全力で取り組んでまいります。具体的には、引き続き「日糧ベスト70」をはじめとする主力品の取扱拡大をはかってまいります。特に、本年9月リニューアルした菓子パンの「北の国のベーカリー」シリーズと食パンの「絹艶北海道」につきましては、積極的な拡販に努め、パン部門全体の売上拡大をはかってまいります。また、月寒デリカ工場の最新の生産設備を最大限活用し、高品質な調理パン・米飯類の製品の効率的な生産に努めるとともに、お客様に喜ばれる価値ある製品開発と販促活動を推進して売上向上をめざしてまいります。さらに、生産・販売一体となり市場動向に即応した製品施策と営業戦略を展開しつつ、迅速な製品開発体制により新しい価値と新しい需要の創造に取り組むとともに、全社を挙げて業務効率化を推し進めてコスト削減に努め、目標達成に向けて努力してまいります。

なお、平成31年3月期通期に関する業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,458,669	2,267,310
受取手形及び売掛金	2,307,213	2,240,996
商品及び製品	43,984	36,714
仕掛品	42,085	12,764
原材料及び貯蔵品	157,361	195,297
その他	87,825	124,476
貸倒引当金	△709	△687
流動資産合計	4,096,430	4,876,873
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,408,956	2,728,114
機械及び装置(純額)	1,279,233	1,663,019
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	1,069,676	240,807
有形固定資産合計	8,420,271	9,294,346
無形固定資産		
その他	85,540	73,434
無形固定資産合計	85,540	73,434
投資その他の資産		
投資有価証券	580,255	652,330
投資不動産(純額)	70,510	70,480
繰延税金資産	161,785	153,612
その他	42,735	43,338
貸倒引当金	-	△463
投資その他の資産合計	855,287	919,299
固定資産合計	9,361,099	10,287,080
資産合計	13,457,530	15,163,954

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,978,419	2,070,603
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	539,932	696,640
未払法人税等	21,464	79,406
賞与引当金	195,257	207,978
その他	1,108,612	1,117,689
流動負債合計	4,593,685	4,922,317
固定負債		
長期借入金	1,479,260	2,755,816
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,568,523	1,578,633
役員退職慰労引当金	65,430	65,522
その他	2,600	2,700
固定負債合計	4,306,393	5,593,250
負債合計	8,900,078	10,515,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	602,725	641,823
自己株式	△13,125	△13,202
株主資本合計	1,641,573	1,680,595
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	221,538	273,449
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,915,878	2,967,790
純資産合計	4,557,452	4,648,385
負債純資産合計	13,457,530	15,163,954

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,759,252	8,586,334
売上原価	6,209,995	6,116,567
売上総利益	2,549,256	2,469,767
販売費及び一般管理費		
販売費	1,997,106	1,949,055
一般管理費	416,954	401,723
販売費及び一般管理費合計	2,414,061	2,350,779
営業利益	135,194	118,988
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	14,667	8,014
受取賃貸料	5,455	5,528
受取保険金	13,084	2,100
その他	4,162	4,539
営業外収益合計	37,378	20,193
営業外費用		
支払利息	11,982	16,771
その他	0	52
営業外費用合計	11,982	16,824
経常利益	160,590	122,357
特別利益		
固定資産売却益	1,911	1,088
投資有価証券売却益	90	-
特別利益合計	2,001	1,088
特別損失		
固定資産除却損	55,603	8,906
減損損失	27	29
特別損失合計	55,630	8,936
税引前四半期純利益	106,961	114,509
法人税等	43,209	44,000
四半期純利益	63,752	70,509

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

販売実績

販売実績を事業部門等別に示すと、次のとおりであります。

事業部門等の名称	前第2四半期累計期間(千円)	当第2四半期累計期間(千円)	前年同期比(%)
食パン	1,291,711	1,402,932	108.61
菓子パン	3,226,227	3,140,296	97.34
和菓子	1,740,973	1,677,740	96.37
洋菓子	374,581	354,471	94.63
調理パン・米飯類	1,905,621	1,789,651	93.91
その他(仕入商品)	220,136	221,241	100.50
合計	8,759,252	8,586,334	98.03

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。